

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

---

1 閉会中継続調査事件

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、前回の委員会において、調査する先進自治体や日程等については、正副で調整のうえ、改めて、皆様に御相談させていただくこととしていたので、これまでの委員会での協議や各委員からの御意見を踏まえ、正副にて参考となる2都市の取り組みを掲載した資料を調製したので、それをもとに協議を行いたいと思う。
- ・ 配付している資料を御覧願う。
- ・ 資料1だが、金沢市の観光立国ショーケース実施計画から抜粋したものである。金沢市は、本市と同じ中核市であり、国が策定した訪日外国人旅行者を地方へ誘客するモデルケースである「観光立国ショーケース」に選定され、アジア圏だけでなく欧米からの観光客も多く、同じ観光都市である本市においても非常に参考になるものと考え、選定した。
- ・ まず、資料の1ページを御覧願う。1ページには、金沢市の年間入り込み客数や外国人延べ宿泊者数などの実績値と目標値が掲載されている。2020年の目標値として、外国人延べ宿泊者数を40万人と掲げている。
- ・ 2ページおよび3ページには主な取り組みと成果ということで、国の交付金を利用した通訳ガイド人材の育成やプロモーション動画の制作などが記載されている。
- ・ 4ページには今後の取り組みの総括として、金沢市では町並みや建造物、食などの伝統や文化が市民の生活に今も息づいており、金沢固有の価値の維持・向上を図り、これらの価値を特別な体験として商品に落とし込む取り組みに注力し、滞在の長期化と消費拡大を図るとともに、コト商品の充実や受け入れ環境整備、プロモーションを主な課題としている。
- ・ 5ページには外国人旅行者の国別内訳を記載しており、台湾が最も多いが、オーストラリアやイギリス、フランス、アメリカなど欧米諸国が上位にあがっている。
- ・ 資料2は松本市観光ビジョンから抜粋したものだ。近年、人口の9割弱をイスラム教徒が占めるインドネシアからの旅行客が急増しており、欧米からの旅行客の割合も比較的高く、インバウンド対策に熱心に取り組んでいることから、参考としやすいものと考え、選定した。
- ・ 資料の1ページには、松本市の外国人宿泊者数の推移を記載している。
- ・ 2ページには、松本市の外国人の国別宿泊者数を記載しており、本市と同様に台湾や中国などアジア圏が多くなっているが、インドネシアが急増しているほか、アメリカやイギリス、フランスなどの欧米諸国の宿泊客数も比較的多くなっている。
- ・ 3ページには、松本市の観光資源の現状が記載されており、国宝の松本城を初め、美術館や博物館などの芸術、温泉・山岳など自然資源、食などにも恵まれている。

- ・ 4ページから7ページには、松本市の現状のSWOT分析と課題、魅力の創出や訪日旅行の市場動向を記載しており、
- ・ 8ページから9ページには、3つの重点戦略として、1つ目に、商店や民芸等の暮らしに触れる体験や松本城集中から他地域分散など「松本市の深さ、多様性のアピール」、2つ目に、東南アジアや欧米など市場別の「プロモーションの高度化」、3つ目に、最も近い国際空港である「中部国際空港との連携」を掲げている。
- ・ 2都市の説明は以上だが、各委員から御発言あるか。

○見付 宗弥委員

- ・ 今回の台風19号で北陸新幹線に影響が出ているようだが、大丈夫か。

○委員長（出村ゆかり）

- ・ 10月25日には復旧するようなので、我々が行く頃は大丈夫だ。
- ・ 次に、今後の調査の進め方だが、ただいま説明させていただいた2都市については、事業実施の成果や今後の課題など資料だけではわかりづらい点も多いことから、正副としては、金沢市および松本市に対し行政調査を行い、本市における今後の方策等の検討の参考としてはどうかと考えるが、いかがか。（異議なし）
- ・ 調査の日程については、11月11日から11月13日までの3日間としたいと思うが、よろしいか（異議なし）
- ・ なお、行政調査時の調査票については、金沢市および松本市の取り組み等を勘案の上作成することとし、内容については正副に一任いただき、後日各委員に御確認いただきたいと思うが、いかがか。（異議なし）
- ・ その他、本件について各委員から何か御発言あるか。（なし）

---

2 その他

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ その他、各委員から何かあるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午前10時9分散会